

チームで

Challenge千代田

令和3年9月

第5号

<http://www.chiyoda-e.kofu-ymn.ed.jp/>

甲府市立千代田小学校
甲府市下帯那3034-2

電話：055-251-8059

FAX：055-251-8067

発行：校長 廣瀬 正純

2学期が始まりました

8月27日より2学期が始まりました。山梨県にまん延防止等重点措置が適用されたことから、他の甲府市の学校では分散登校となりましたが、少人数で感染症の対策をとることができる千代田小学校では通常通りの学校の開始となりました。感染症対策を徹底しながら、子供達にとって充実した2学期となるよう学校としても取り組んでいきたいと思っております。ご家庭でも支援とご協力をお願いします。

特に、学校で感染症を広げないためには、学校内にウイルスを持ちこまないことが重要となります。

- ・お子さんの登校前の検温、健康観察の徹底をお願いします。体調不良、発熱、咳等の症状がある場合は登校せず、自宅休養してください。
- ・同居の家族で同様の症状が見られる場合も登校を控えてください。
- ・マスク着用の徹底もお願いします。

始業式では、子ども達に、校長として次のような内容を話しました。

ほかの学校はコロナの感染の対策として分散登校になっています。千代田小学校は人数が少ないので、ふつう通りの学校生活を始めます。ですが、コロナ感染症が広がっています。軽い症状ですむ場合が小学生は多いのですが、小学生にも感染します。特にこの2週間は、みなさんも感染症対策に力入れてください。

始業式（感染対策をしながら）

学校生活をみていると、給食中は一学期から前を向いておしゃべりをせずに食べています。バスの中でも、どの子も黙っています。普段の生活の中でも感染症対策を子供達が意識しているのがわかります。よく考えて行動しているなあと感じます。

また、感染力の高い変異株が流行していることから、感染対策をしていても千代田小学校に関係する人の中から感染者が出てもおかしくありません。感染した方に対しての偏見や差別が起きないことが学校教育では重要です。今までにも機会あるごとに子供達にも話していますが、今後も同じように差別や偏見を持たないように話していきます。



PTA 常任委員会

9月3日に PTA の常任委員会をおこないました。今後のことも考え、初めての試みとして、ズームによる会議となりました。顔を合わせて話し合いをする良さもありますが、感染症のことなどを考えると必要になる方法です。コンピュータの調整もスムーズで、運動会やオータムフェスタについて話し合いました。常任委員の保護者の方にはご協力ありがとうございました。



運動会に向けて

運動会の取り組みが開始されました。今回の運動会の大きな目的の一つは、全校児童が運動会の計画・運営に参加することです。運動会の中で協力して競技をすることも重要ですが、自分たちで運動会を作ることで学ぶことがあります。

たとえばどんなことにも準備や片付けが必要です。サッカー・ワールドカップなどの試合後、日本のファンが自分たちの座っていたスタジアムの座席を念入りに掃除し、歩き回ってごみを拾い、開場時と同じくらいきれいにしていくことがニュース等で伝えられることがあります。

また、私のいた中学校で、運動会の後、実施要項（全員に配られる競技のルールや進行をまとめたもの）がグラウンドにいくつも捨てられているということがありました。学級役員に、実施要

項ができるまでの話し合いの回数、原稿を作ることや全校分の印刷やとじることの大変さを話したところ、学級委員が運動会の後、ごみを片付けて回るようになりました。これは学級委員が、話し合いや準備の大変さを知っていたからこそその行動です。

千代田小の子供達も運動会を通していろいろなことを学んでほしいと思います。

千代田オリンピック ～力を合わせてがんばろう～

9月25日、千代田オリンピック（運動会）を行いました。準備体操の後、まず最初に行われたのが、「大玉運び」です。この競技は、一学期に、子供達が意見を言い合い、どのような競技にするか決定しました。また、一度競技をした後、どうしたら自分たちの目標に近づけるか話し合い、2度目の競技をしました。運動会としては珍しい方法だと思いますが、「考えて、変えていく力」をつけることができます。運動が苦手な子供が、運動をあきらめるのではなく、自分の中で考えて前の自分より上達することを目指してほしいと思い、先生方が工夫した競技です。



一学期 どのような競技をしたいのか話し合いの様子



一度目の競技の後の話し合いの様子



2番目は、「KPOP - JUMP ♪（表現）」です。どの子の表情も楽しいそうでした。アンコールがかかったことで、2度目はさらに自信を持ち踊っていました。実は取り組みだしたところのダンスより難しいものとなっています。子供達の取り組みの様子を見て、さらに上のものを目指したのです。

3番目、「親子でてるボール ミッションに挑戦！」です。山梨県の体力テストでは、全国と比べ「投げる力」が伸びていないそうです。そこで、投げることを中心とした競技となりました。保護者の方と楽しみながらも投げ方がうまくなっているのがわかりました。

4番目、千代田小伝統の「一輪車パレード2021」です。短い時間の取り組みでありましたが、上達しているのがよくわかりました。それぞれが自分でどんなことをするか発表をした後、一輪車の演技をしました。



（KPOP - JUMP ♪）



（親子でてるボール）



（一輪車パレード）



今回の運動会では、子供達が前に立って競技の紹介や自分の演技の説明、競技の準備・後かたづけをして、運動会の運営に参加しました。その分競技については間をとり負担にならないようにしました。（先生方も体育主任を中心に試行錯誤しながら運動会を作りました。）

子供達がテントにいるときに、「まだだよ。『準備してください』で、準備だよ。」という声が聞こえてきました。これは、テントの中で次の競技のことを考え、運動会をつくらうとしているからこそその会話です。運動会の中で、自分たちで物事を進める時に大事なことを学んだ運動会でした。

☆保護者のみなさまには、運動会後の後かたづけをありがとうございました。